

パブリックコメントの回答について

市歴史的風致維持向上計画第2期計画（案）へのパブリックコメント募集手続きについては、令和元年12月16日から令和2年1月17日まで募集し、2名の方から3件の意見が提出されました。いただいた意見と考え方は以下のとおりです。

いただいた意見の要旨	市の考え方
<p>岩村城跡が歴史的風致維持対象史跡とされる事には賛成であるが、岩村城は18の出城を抱えて成り立っていた城である。観光面から岩村城のみに焦点をあてるのは如何なものか。過去NHK放送の「その時歴史は動いた」でも取り上げられた「飯羽間城跡」も歴史的風致維持対象史跡とすべきではと考えます。観光面での力の入れ方が観光協会が設置した大看板も一部破損し、城跡全体が竹林化している現状は残念です。このままでは歴史的遺跡は無くなります。</p>	<p>歴史的風致とは、地域の持っている歴史と伝統を生かした活動と、歴史的に価値の高い建造物が一体となって形成してきた環境を位置づけています。特にこの計画では活動の有無が重要となります。</p> <p>本計画の重点区域である「城下町岩村地区」内の『岩村城跡』では、岐阜県の無形民俗文化財の「岩村町秋祭行事」や本通り商店街のにぎわいと古いまち並み、ボランティアによる清掃活動など、古くから連綿と続く活動があります。その活動を柱として、歴史的価値の高い『岩村城跡』を結ぶ付け、事業対象史跡と位置付けています。</p> <p>このことから「城下町岩村地区」内には『飯羽間城跡』も含まれていますが、現段階で事業対象史跡に含められていません。</p> <p>今後、飯羽間地区における歴史と伝統を反映した活動と『飯羽間城跡』を結びつけた取組が構築できれば、対象史跡としての位置付けも前向きに検討していきます。</p>
<p>最近特に痛感していることで、市民の歴史と文化に対する意識がやや薄くなって来ているように思う。この計画案の随所に書かれているように、市民の関心や参加を促すために皆の目に触れるように積極的な広報が大切と思う。</p>	<p>歴史的風致維持向上計画は、地域における固有の歴史と伝統を反映した活動が重要となってきます。今後も同計画や計画に基づく事業など積極的に広報を行っていきます。</p>
<p>P33の佐藤一斎の中で、間違いがあります。下から4～5行目です。「昌平坂学問所に入門」ではなく、「林家に入門」です。「昌平坂学問所」の儒官（総長）になったのが天保12年（1841）です。また、門下生は3,000人といわれています。</p>	<p>ご指摘のとおり、誤植を訂正いたします。</p>

<p>P34 三好学の中で、ショウブとありますが、ハナショウブです。ショウブとハナショウブとは別物です。</p>	
--	--